

備前市新型コロナウイルス抗体検査事業 (2023年度実施事業)

目的	個人の抗体価の経時的変化を評価 抗S抗体と抗N抗体の保有割合の評価
対象者	備前市に職場があり勤務している人
方法	全2回の抗体価測定 静脈血採血により採取した血液(2mL)での評価
取得データ	調査票に基づくデータ 基本的属性(年齢、性別)、生活習慣、 ワクチン接種状況・副反応、罹患の有無など

1回目検査:2023年11月6日～11月17日 2回目検査:2024年1月10日～1月19日



BCAT
Bizen COVID-19 Antibody Test



岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
疫学・衛生学分野
Department of Epidemiology, Graduate School of Medicine,
Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama University

参加者の属性(N=445)

市内8施設から、1回目の検査は445名、2回目の検査は415名が参加

		全体, n (%)
性別	男性	137 (30.8)
	女性	307 (69.0)
年齢	19-29歳	41 (9.2)
	30-39歳	65 (14.6)
	40-49歳	96 (21.6)
	50-59歳	149 (33.5)
	60-69歳	75 (16.9)
	70歳以上	19 (4.3)
ワクチン接種歴(3回以上)	なし	39 (9.0)
	あり	405 (91.0)
感染歴(1回以上)	なし	214 (48.0)
	あり	231 (52.0)

* 1回目の参加者445名の属性を示す

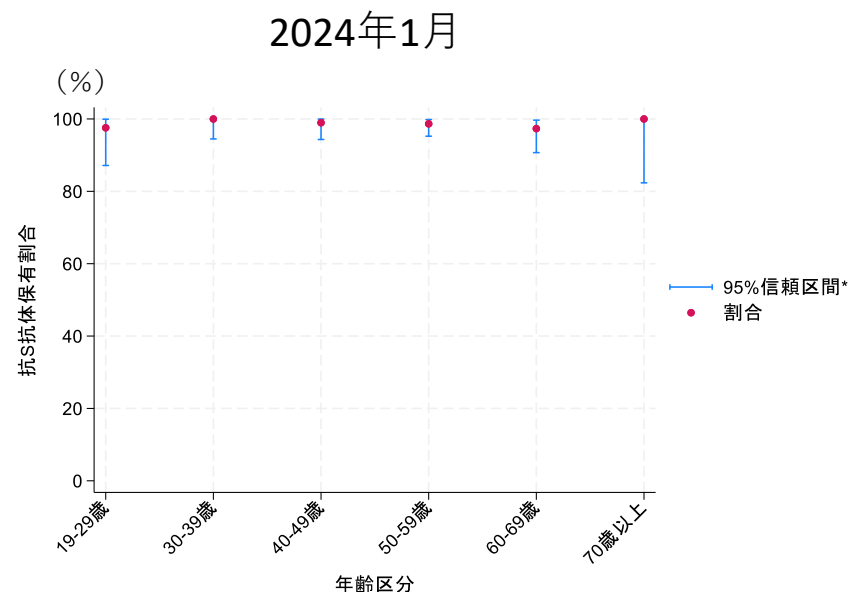
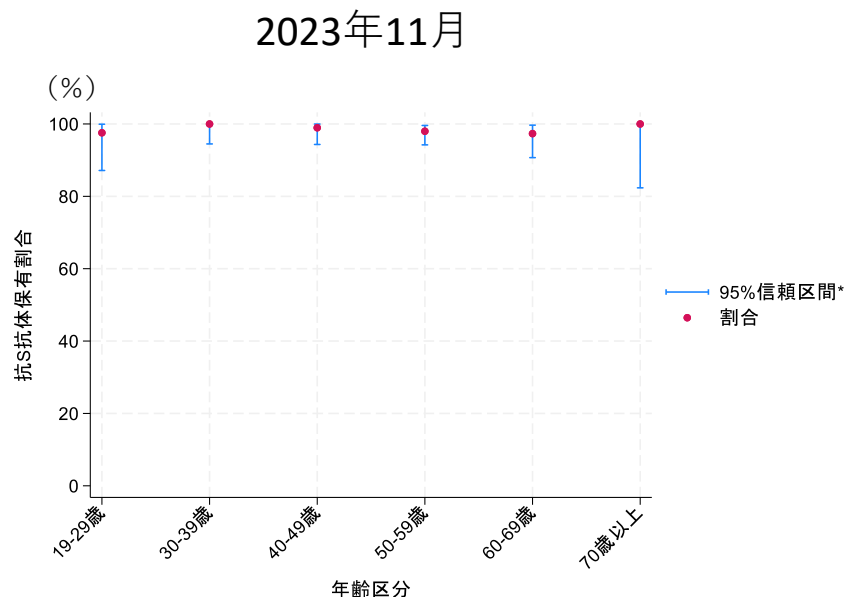
* 1名の性別情報、1名のワクチン接種情報が欠損



抗S抗体の保有割合

参加者の9割以上が3回以上ワクチンを接種しており、また感染によっても抗S抗体は上昇するため、どの年齢区分でも保有割合は高かった。

陽性判定は、メーカーの規定したカットオフ値 ≥ 50.0 に従う



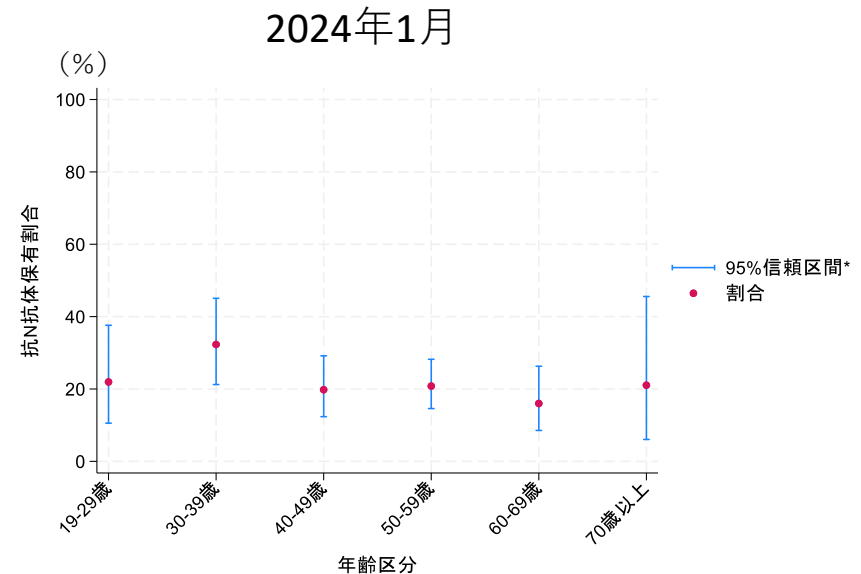
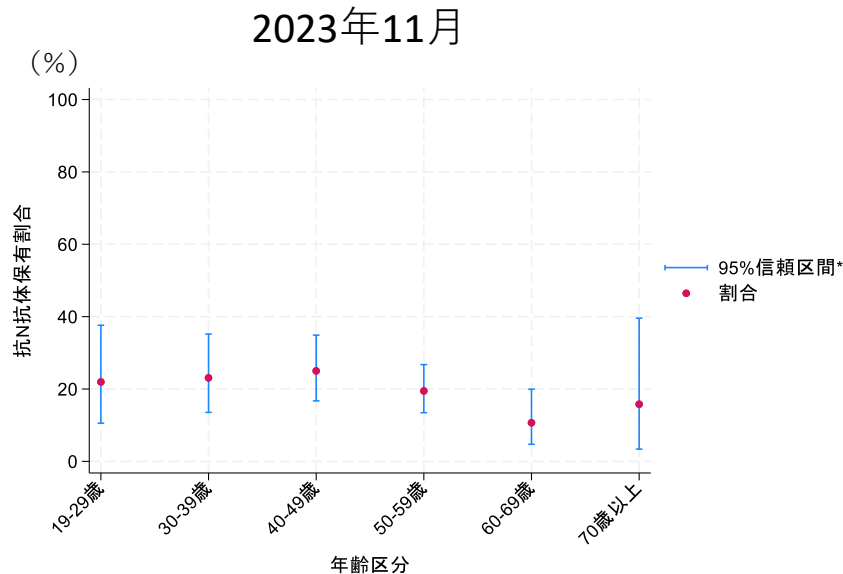
*ばらつきを考慮した幅

測定試薬（キット）：ARCHITECT SARS COV2 IgG II Quant, アボット合同会社 測定機器：ARCHITECT i2000SR, アボット合同会社
受託検査機関：兵庫県臨床検査研究所 岡山支所

抗N抗体の保有割合

どの年齢区分でもメーカーの基準値を利用した検査時点での保有割合は2割程度で、2回の検査で大きく変わらなかった。抗N抗体は感染から時間が経つと下がる可能性があり、メーカーの基準値をカットオフ値として判定することについても検討の余地があるため、検査の実施タイミングによっては、過去の感染を反映していない可能性がある。

陽性判定は、メーカーの規定したカットオフ値 ≥ 1.40 に従う



*ばらつきを考慮した幅

測定試薬（キット）：ARCHITECT SARS COV2 IgG, アボット合同会社 測定機器：ARCHITECT i2000SR, アボット合同会社
受託検査機関：兵庫県臨床検査研究所 岡山支所